昭和二十一年六月一日 第三種郵便物認可
昭和二十一年七月卅一日 夕刊 いわき民報 (水曜日) 第八十七號 (一)

いわき民報
發行所 いわき民報社
平市田町一番地(電話三八一番)
編輯兼發行人 印刷人 千輝克己
日刊 但月曜日を除く
定價 一ヶ月五円 一部二十錢

差別待遇の悩も解消か
健康の藥價を大幅に引上げ
一点五十錢と一圓三十錢に

平國民健康保險組合では三十一日午後一時から市公會堂日本間に總會を開き二十年度決算並に二十一年度豫算追加更正その他の諸件を附議するが同時に昨今各地で問題となり、事業停止の事實上の解散すら行はれてゐる向もあり、これらは大部分が醫師側の協力が藥價の問題等から採算出來ず且つ手數の繁雜さから不十分であるところに原因して居り市に於いても本月の常會に第二十八區から存續か解散か速かに決定すべしとの提案すらみてゐるのに鑑みこの際藥價支拂ひの点數價を大幅に引上げ、以つて一般患者と保險患者との藥價差額を均等になさしめることに決定した、豫算の追加はこの引上げに基くものである、尙新藥價点數は一点五十錢が一躍一圓三十錢となるので今度こそ普通患者も保險患者も醫師側としては大体差額がないことになるので取扱ひも差別が撤廢され全面的協力をみるに至り組合の癌もこゝに解消をみるものとしてゐる

大衆の協力を望む
不協力醫師は斷乎處斷する

右について健保組合伏見主事は語る

藥價点數は最初一点二十四錢だつたのを三十錢に引上げ、更らに先般五十錢に引上げた然し物價の高騰につれて藥價も騰つてゐるので、今度は思ひ切つて一躍倍以上の一圓三十錢と、八十錢の大幅引上げを斷行することとした、これで醫師側も保險患者も一般患者も、その收入差がなくなることになるから、從來の如き忌しい噂も自然解消、醫師側の全面的協力を得らるゝと思ふこれでも尙かつ不協力の醫師があれば即時に縣報告斷乎たる處置に出る肚でゐる、從つて一般も是非組合の診療券を有益に使用し、つまらぬ見榮等は捨てゝ欲しい、健保は飽迄大衆のものでありこれを活すも殺すも大衆の肚一つにあるのである、加ふるに祖國再建は實に健康にある点を考へて大衆も徒らに反對せず、社會的使命を考へて是非協力を望みたい

鯨岡助役任期滿了

湯本町助役鯨岡一馬氏は三十一日で任期滿了となるが、町長の公選を目前に控へてゐるので、この改選は結局町長の選擧后になるものとみられるが果して白羽の矢は何處にゆくか町民の注視の的となつてゐる

電話新設
電八三一番
新設いたしました
御利用下さい
平市紅小路
むぎとろ さつき

町長公選に鯨岡助役を
後援會結成さる

湯本町では來る九日の町長公選に當り現助役鯨岡一馬氏を推さんとする有志一同は表町木村重五郎氏を會長に鈴木康平氏を副會長に後援會を結成猛運動を開始

人妻投身自殺

四倉築港船曳場へ二十八日朝女の溺死体が漂着、四倉派出所管野巡査が檢視の結果好間村上好間字小舘菊地とく(二七)とて去る二十四日洋服のことから夫と口論無斷家出したものと判つた

勤勞統計調査實施
漁業家と普通農家は除外
調査員廿七名も任命さる

昭和二十一年度勤勞統計調査は終戰後の日本經濟の程度を知ると共に、勤勞事情を明らかにし再建日本の勤勞行政の基礎資料を目的とし特に聯合軍司令部の指令に基き本月末日現在で調査するもので調査客体は工業、鑛工業、交通業の事業場、夫等の事務所及び之等以外の產業事業所(常時雇傭從業者の居る所)に就いて從業者の年令別、種類別技術者、勞務者等)、一ヶ月間の就業延人員、就業時間、賃金生產額、生產費等に就き調査するが昨年と異なる所は普通農家漁業家は除外され(純然たる經營体は調査される)又女中等の家事使用者も除かれる、等であるが本調査の重要性に鑑み各事業体では積極的に協力該當項目に就いては詳細報告する樣市當局も要望してゐる、調査報告期日は八月五日迄で指導員として內閣統計局より大竹亘、坂本英雄、鈴木英雄の三氏が任命され調査員には左の二十七氏が知事から任命された

舘林喜內、早川忠男、柏原信一、森川泰一郎、內藤武雄、坂本昌藏、根本善一郎、永山小平、吉田眞吉、馬目芳久、井上白土朝次郎、菅波芳雄、井上欽司、藤田專吾、佐藤寬二、佐々木義光、草野昇二郎、白土仙二郎、高柳忠雄、渡邊榮吹、石山信雄、古田秀雄、根本一馬、野木秀文、小林勝次松本鄰廣、三輪喜美

青果物出荷割當を協議

郡農業會支部では青果物の再統制實施に伴ひ、需給關係の圓滑化を期するため、出荷の割當をなすべく三十日消費者側及び生產者側の兩代表を午前十時から久ノ濱町日本炭礦事務所に召集忌憚ない協議並に打合せをする

經濟取締強化傳達

平署經濟課では三十一日午后二時から同署演武場で勅令第三一一號(占領目的に有害なる行爲)に基く經濟事犯の取締强化其の他に就いて各關係者の代表を集めその徹底を期するが一般者も違反防止の爲多數參加を希望してゐる

引揚聯盟の二支部結成

石城郡田人村では去る二十三日準備會を開いた結果二十九日海外引揚者磐城聯盟支部を結成するに決定、又山田村では二十二日支部を結成したが、委員長は本郷元美氏、副委員長は所田作之助氏と決定した所屬は二十八世帶百十二名とある

上戸連に嬉しいお盆
お酒の特配も漸く決定さる

酒の配給はいよ〳〵窮屈となつたので、來るお盆用の酒はどうなるか?平稅務署についてきくと盆用は既に平市へ十八石、石城郡下各町村へは百三十五石の割當が決定してゐるので、先づ一戸平均三合程度は大丈夫とある、左黨にとつては嬉しくも待たるゝお盆ではある

四倉派出所警部補更迭

四倉警部補派出所大竹警部補は病氣のため目下靜養中なので后任として二十九日高橋岱之丞警部補が着任

南瓜類の統制違反一味送局

小名濱町富岡農業西丸貞虎(三七)は南瓜百貫を馬目定之(五八)は二百貫、西丸正(三二)は百貫、西丸彌造(六五)は五十貫齊藤利三郎(四〇)は六十貫を共謀して去る二十三日常磐鑛山赤井勞働組合食糧對策委員會に賣り飛ばさうと平市內運搬中を靑果物統制違反で平署へ檢擧二十九日書類のみ送局

海水浴場監視
小名濱警防團が

小名濱町警防團では今回御代巡太郎氏を團長に、黑澤廣、橋本佐多壽爾氏を副團長に陣容を一新したのを機に、一層社會民衆のために强力に活動を開始することになり、先づ手始めに海水浴季節となつたので、團員交替で浴場の監視に乘り出し、漕難者の救助、各種犯罪の絕對的防止につとめることになり、全町民から感謝の的とされてゐる

工員募集
瓦斯熔接工 若干名
板金工 若干名
鑛山用製鑵工事及火造
ボイラー製作及修理
パイプ配管工事
魚船用金物一式
瓦斯熔接並電氣熔接
セメント瓦型製作
古川鐵工所
代表者 古川直治
平市鍛冶町五
電呼五三三番

いわき寸言

▼健康組合今度藥價点數の大幅値上げを實施醫師側の採算をはかりその全面的協力を望むこれで差別待遇の悩みも解消しやうとあるのは嬉しい ▼市民全体がつまらぬ見榮をかなぐり捨てゝ、診療券を使用するやうになればこんな悩みは感ぜずに濟むのに、中に見榮坊があるために悩みの種となるのである、こんな見榮は自らの首を絞めるものと知れ ▼左黨よ喜べ!お盆には酒を特配するとある酒のまぬ女世帶にも一樣に配給は一考すべきではあるまいか?こんな酒は必ず闇を產むか物交の忌しい材料となるのみ

第五回洋裁夏季講習會
一、期日 八月一日ヨリ五日間
二、會場 平市第三國民學校
三、講師 本院副院長菅野八千代外職員數名
四、内容 野良着、學童服、開襟服等ノ裁斷、部分縫、型紙製作等
五、會費 拾五圓
六、資格 制限アリマセン
七、申込 各國民學校氣付女子青年團長殿宛御送リシテアル申込書ニ書イテ學院宛送ツテ下サイ又會場デモ受付致シマス
福島市榮町二四
福島高等洋裁學院
學院長 菅野慶助

近火御見舞御禮
小名濱町前神町三六
山本工務所 山本杉雄

類燒御見舞御禮
小名濱町前神町三六
木田製材工場
工場主 木田谷平

移轉廣告
嚢に戰災により燒失致しました社屋の建築工事も此の程竣功面目一新して更正の第一歩を踏み出すことに成り移轉致しました
新事務所 平市田町五番地 電話二〇二番
平土地住宅有限會社
第一通信工業株式會社
平肥料興業株式會社
平石材採掘株式會社

母イチ儀永らく病氣中の處療養不相叶七月二十九日午后二時十五分永眠仕り候辱知各位に生前の御交誼を拜謝し紙上を以て御通知に代申候追而八月一日午后二時自宅に於て告別式執行可仕候
七月三十日
平市紺屋町二十七番地
喪主 馬目玉彌
親戚總代 野木善太郎
馬目仙十郎

農民組合はどう在るべきか
最近の農組の動向から見る

過去に於ていや現在に於てもまだ日本は働く者のために餘りにも冷淡な制度を押しつけ通して來たし押し付け通してゐる、だがそれは敗戰と共に過去のものとならねばならない、今や働く者のための強大な力が既に勞働組合法となつて表現され新生日本の明日の飛躍を約束してゐる、が大きく眼をひらいて一歩農村の實情を見んか今や日本の農村は食糧生産と過剩人口との二重の壓力が深く蔽ひかぶさつて居りこの重大任務に對する負荷力を強化する手段として空前の大土地改革が實行される事になつた、とは言へ利害關係を極度に異にする地主對自作、小作の心理動向の葛藤は表面化しては農村社會組織や供出問題に種々な波紋を卷き起してゐる、この波紋の擴大を收拾すべき重責を擔つてゐる筈の農民組合なるものは如何に動きつゝあるか、御用組合と言ひ自主的組合と云ひ期するは日本の運命を背負ふ農民の姿に外ならぬと思ふ、如何なる場合と雖も我々は激變する社會狀勢に對し冷徹な批判と反省を持たねばならない、農民の今後の在り方こそ再建日本の動向を決定する基盤となるものでなければならぬ、日本農民組合石城協議會書記長高野正男氏に最近の組合の動向をきいて見る

別系は四組合のみ
結局將來は日農へ合流か

日農石城協議會 高野書記長の談

現在組合の縣内組織は日本農民組合福島聯合會の下に各郡に協議會をおき各村に支部を結成聯絡機關として各町村より二名宛の常任執行委員を選出、執行委員會を組織協議會を形成してゐる、支部結成狀況は郡内三十三ヶ市町村の中高久、泉、小名濱(舊玉川)、永戸箕輪、赤井、好間、澤渡、勿來、錦、山田、川部、上遠野、入遠野の十五ヶ村で準備委員會の結成されたものは夏井、江名、飯野、川前、三坂、農間、上下小川、神谷、大野、大浦、植田の一一ヶ町村に及んでゐる、未組織の町村は四倉、湯本、田人の三ヶ町村別系(御用組合)の農民組合は野、磐崎の四市町村であるが之等天下り御用組合は既に内部的に分裂しつゝあり必然的に當組合に合流するのも遠くはないと思ふ

三大問題に全力傾注

供出の民主化に

目下組合の取上げてゐる當面の問題は供出問題、土地問題、肥料問題の三つであるが第一に供出問題に就いては、從來の天下り式供出割當を是正する爲さきに結成された食糧對策委員會に於て農組側が役員詮衡其の他に就き申入れをなしたが遂に部分的にのみ取り入れられなかつたが日農側としては全面的に參加を拒否し獨自の立場から運動を展開する事になつた、即ち各町村に於ては支部結成の町村の大部分に於て日農組合員が食糧對策委員として活躍農民の實生活確保に依る供米を促進眞の供米運動の民主化を展開しつゝある

の出來てる所は平市、內鄉、草本[illegible]成の大小麥及び馬鈴薯割當に就いては極めて忽忙の間になされた爲充分な檢討是正の余裕がなされなかつたので批難の聲が高い、勿論かゝる狀態こそ官僚獨善の机上論である事は論をまたないが來るべき二十一年度産米供出割當に對しては既に對策を講じて居り研究期間の設定も官廳側に申入れてある、要は農民の保有量を第二義第三義とした民生を無視した官制割當であり、種子保有量、明年度生産勞力の減少、生産意欲の低下等に深刻に反映して居るといふ事實を我々は是正すべく戰つてゐる

危機突破に獨自の對策
馬鈴薯の種薯北海道に註文

日農の立前としてゐる『義務を果たして權利を主張する』適正なる義務を果すのみならず我々は更に積極的に『一握り運動』を全國に展開し本部に於ても既に集荷を見てゐるが郡農業會はかゝる民主團體の集荷物を縣食糧危機突破の枠內に入れる事を拒んで居り今更乍ら役人の形式的な頭に呆れて居る、更に種子馬鈴薯にしてもそうだ、永年種子馬鈴薯は北海道其の他の地方との交流なき爲著しい生活力を弱められ本年度の如きは『バイラス病』の跳梁に任せて居り好成績の蔭に意外の減産は著しいものがある、縣は北海道との交流を協定ずみであるにも拘はらずその交流希望者は一〇〇%完遂者のみといふ苛酷な條件を付けてゐる爲疲弊せる農民は更に困窮におとし入れられてゐる、斯くては農民の貧しき者は極度に益々貧しくなり富める者は益々富む事になる、斯くては日本の農民はいや、日本の食糧危機は絶對に解決出來ない日農はかゝる觀点に立つて獨自の立場から之を是正すべく一萬八千貫の種子を地方事務所側と折衝中で今秋は之を郡内農民の手に配給する計畫である、一方將來の種子馬鈴薯の更新の爲、平製氷會社と協同、同所支配人伊澁東一郎氏と冷凍法に依る多眠の實際的方法を研究中である

惡地主は嚴重監視

土地問題に就いては舊來の農地委員會の官僚長は既に周知の事實であるが農地調整法の改正に伴ひ日農側は縣と交渉新たに郡町村に土地委員會を作り本郡に於ては日野利春、高野正男が參加してゐる、地主の不當取上、闇賣買に就いては既に數十件を處理解決して居り惡質地主連には日農の名を鬼神の名の如く恐れられてゐる農地を解放し、農民を封建的鐵鎖より解放せよ、これこそマ司令部の斷乎たる指令であり日農はこの線に沿ふて積極的に土地開放を取り上げて行く、暗躍する惡地主、土地ブローカー等の動きを日農は嚴重に監視する

酵素菌も新研究中

肥料問題に關しては現在魚肥過燐酸肥料の入手に日下奔走中であり、一面陛下の御熱心な御下問にあづかつた酵素菌の研究に關しても從來の封建的因習から脱し、その効果、實際問題等につき芳賀武、熊澤龜元氏等を主として鋭意研究中で既に酵素菌の優秀さも判明、之が普及に講習會をひらきつゝあるが科學的智識に目覺めた組合員の加入も加速度的に増加しつゝある現狀である、日農では斯る新研究部面にも積極的に乘り出し常に農事試驗場に於て之等の研究をなしつゝ科學的農業の一翼をも擔つてゐる

學聯の音樂座談會の夕

日本學生綜合聯盟の引揚者並に市民慰安の音樂會の夕は二十八日夜五時から平市公會堂で開催終つて同所に岬會の稻岡正君を司會者として學聯と岬會の他磐城文化學園女生徒等の座談會を開催盛況を極めた

四倉松操會音盤音樂會

活潑な活動開始

四倉町の文化團体松操會では三十一日夜七時から國民學校でレコードコンサートを開催、町民並に海水浴客の納涼慰安を行ふことに決した、尙仝會では厚生部が主体となり海水浴客ため海岸へ共同便所をも新設各方面から感謝されてゐる

ダンス指導

千葉女史四倉で

帝都社交舞踏教師界で鳴らした千葉華都枝女史は、地方文化向上の一助にと四倉町に今度社交ダンス指導所を開設した、仝女史は專門校出身のインテリーで唐手術の初段の免許をも有するが、希望によつては女子の護身術としての唐手術の指南をも行ふとある

開放

投書を歡迎す 要望批判結構 紙上匿名可

無秩序な乘客

▼…海水浴季節になつた昨今、平驛を中心に常磐關係の驛の混雜することは夥しいものがあり、女子供の乘車は眞に死にもの狂ひの有樣である。二十八日の日曜日に自分は四倉に所要あつていつたが…同驛の雜踏には驚いた

▼…列車の發着毎に驛長さんを始め驛員が總出で整理してゐるが、そんな整理や注意には耳もかさず、列車の窓ガラスを破つて乘る、改札を通らず柵を乘り越えて無札で乘車する、女子供もあらばこその有樣

▼…見兼ねて驛員が少し大きな聲で注意をしやうものなら、民主々義だ何をいつてゐるんだ、氣をつけろ――と來る、自分はこの有樣をみてつく〴〵とこれが敗戰國民の姿かとしみ〴〵悲しくなつた、こんな無秩序のことで戰に勝てる道理は絶對にない、忌しい敗戰もまたやむを得ぬものと感じた

▼…外人にこの有樣をみせたら何と思ふだらう、考へただけでも冷汗三斗の思ひがする、敗戰の今日一般にまるでその責は軍閥と、一部の指導者にあつたか如くに口を揃へて難ずるが、自分達のこの淺間しい無秩序、自分さへよければよいといつた態度を顧みるとき、敗戰の責の一端は自分達も負はねばならぬことを感じよう

▼…一事が萬事、列車に乘るのにこの有樣では他のすべてが同樣であつたことをいなむことは出來ぬ筈である、我國はこれから出發し直して、秩序正しい平和日本とならねばならぬのである、我々は敗戰の責を人に轉嫁せず、各自自らがよく考へて、もつと日常の生活そのものからして正しく明るく、誤つた自由を排撃してゆきたいものである敢て一考を煩はしたい(一乘客)

お買物は皆様の!!
化粧品、固型洗劑、京人形
甘味料、小間物、各種雜貨
やまよし
平四丁目 電二六八

一般塗裝工事請負
遠近を問はず出張工事御用命に應ず
營業案内
船舶塗裝 建築塗裝 鐵骨塗裝 自動車オートバイ吹付 ワニス 防腐劑 コールタール 塗裝一般
安島塗裝工業所
安島光昭
小名濱横町四四番地 電一七八

開店
營業案内
洋品雜貨 化粧品類 大工道具 履物類 日用品
平市田町一(電七九四)
同和火災保險株式會社
日産生命保險株式會社
平代理店 まさごや
佐藤陽[illegible]
女店員二名求ム

お急ぎの印刷は
加納活版所
平市紺屋町 電四百九番

◆稅務相談◆
帳簿 記決算 計理 變更 合併 設立 增資 會社
桑原計理事務所
計理士 稅務代理士 桑原 徹
平市揚土 電一八一五番

榮養麵の製造販賣
主食不足の時代!
海草より榮養麵の研究に成功
一食分五十匁で澤山
御試食を乞ふ
四倉町仲町電五二の乙
榮養麵製造販賣
海産物加工業
川崎藥局
古市壽平工場

セメント瓦
製造注文に應じます
五馬力粉碎混合機あり
古いカタマリセメント御持下さい交換致します
大浦村上井仁田

合名會社 大谷建材店 四倉工場
(四倉驛ヨリ約七丁)
大谷文夫
御注文ノ際ハ御一報下サイ係員參上シマス

白花崗石(シロハナミカゲイシ)
板石各種
建築用 土木用
間知石 一五 一二 相當アリ
右御注文ニ應ズ
田村郡瀧根町保驛前
白石事業部
連絡事務所
白石源一
電話瀧根局一四